

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	冬季における安心・安全な道路整備事業
事業主体 (連絡先)	泰阜村
事業区分	安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,298,000円 (うち支援金: 811,000円)

事業内容

人口減少や高齢化による担い手不足が深刻化する中、住民自治ベースで道路の維持管理を行う人材の不足が問題になっている。特に冬季は、本来積雪の少ない地域であるため大規模な除雪設備を保有できないことから、ミニマムな設備での対応を強いられている。

そこで、行政において軽トラックに設置できる融雪剤散布機を導入し、降雪時等において少人数でも迅速な融雪作業ができるよう地域住民に貸与する体制を整えた。地域住民への貸与にあっては安全に使用できるようマニュアルを整備した。



【導入した融雪剤散布機】

【目標・ねらい】

- ① 冬季の安全な交通環境の確保
- ② 迅速な凍結防止対策の実現
- ③ 少人数による融雪剤散布
- ④ 住民協力による自治力の向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

例年に比べて雪が少ない年であったが、降雪の際に迅速な融雪剤の散布ができた。それによって路面の凍結が緩和され、地域住民のより安全な道路交通状況が確保できた。

※自己評価【B】

【理由】

融雪剤散布機の導入により、少人数での迅速な凍結防止対策が実現し、冬季の道路交通状況の安全性向上に寄与した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来シーズン以降に向けて道路の降雪や凍結状況についてさらに詳細に把握し、融雪剤散布をより効率的に行う仕組みづくりを進めることで、より安全・安心な住民生活の実現につなげる。

人口減少が進む状況下にあっては、融雪剤の散布についても地域住民と行政との協力や、住民同士の協力が不可欠であり、その体制についても積み上げていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある